

第4章 計画の基本方針

4-1. 基本方針と地域公共交通の将来像

本市における地域公共交通、市の現況における諸課題を踏まえ、行田市地域公共交通計画の基本方針と、公共交通の将来像を次のように定めます。

基本方針

便利で 愛される 持続可能な 地域公共交通の実現

地域公共交通の将来像

1

地域に合った公共交通への再編

本市特有の地域課題や移動に関する特性、今後予想されるニーズに合わせた公共交通を目指し、持続可能な公共交通への再編を目指します。

2

それぞれの目的に応じコンパクトに移動できる公共交通の実現

駅、学校、商業施設、医療機関等、市内主要施設へスムーズに移動できる環境の実現を目指し、新たな公共交通導入の可能性を含め検討を実施します。

3

使いやすい公共交通の利用環境の形成

進行する少子高齢化を念頭におき、幅広い世代にとって安心な暮らしの実現に寄与する公共交通の利用環境の形成を目指します。



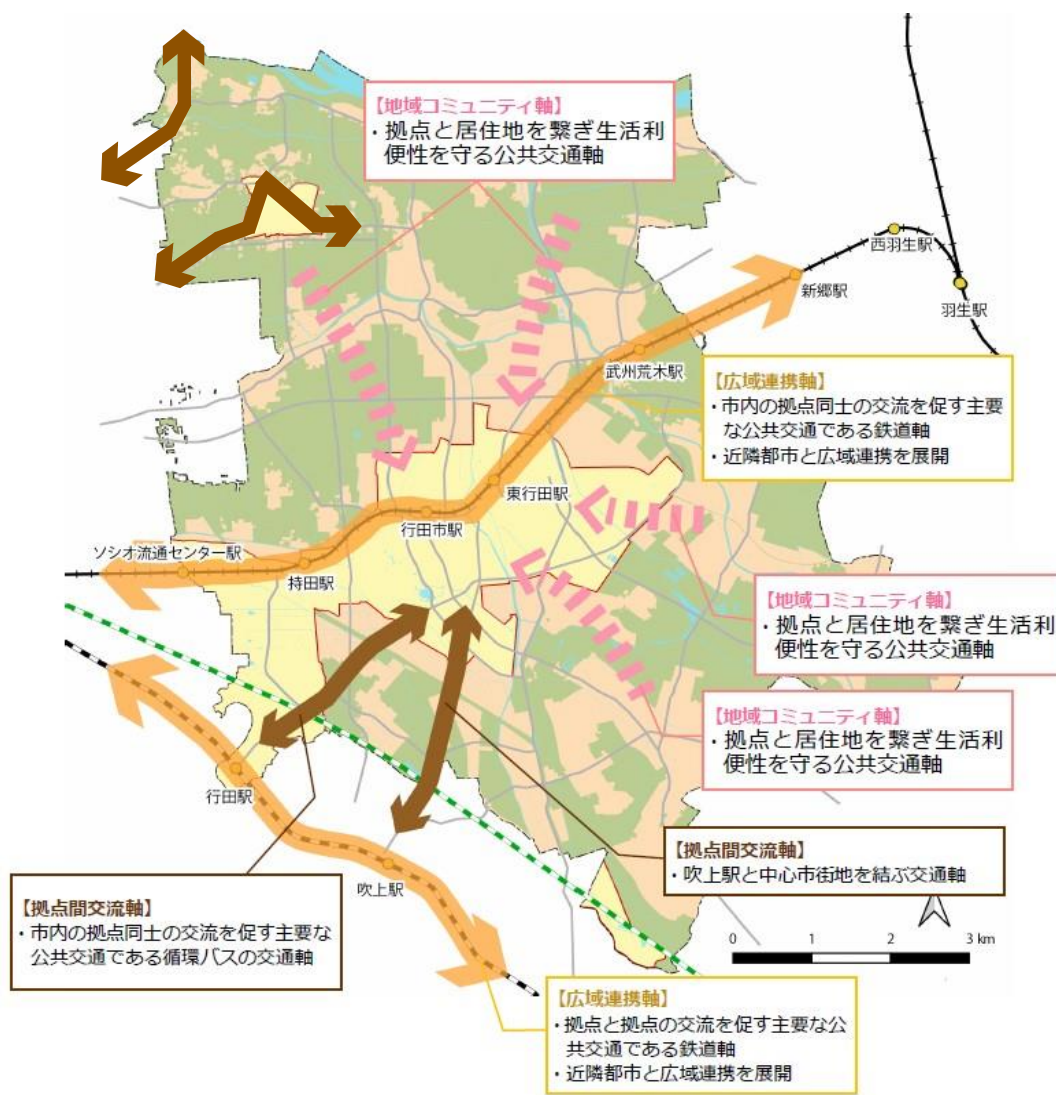
4-2. 目標と取組の方向性

基本方針に基づき、次のとおり目標を設定し、取組を進めていきます。なお、目標の達成状況を評価するため、各施策に対し、評価指標（公共交通の利用者数、収支率、満足度等）を設定します。

目標	取組の方向性	施策
目標 1 : 円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動しやすい公共交通システムの構築 ・ 拠点施設と各都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの形成 	施策 1 公共交通網の再編
		施策 2 鉄道・バスの連携の強化
		施策 3 移動しやすいネットワーク形成のための交通拠点の確保
		施策 4 新たなモビリティサービス等の導入・活用
目標 2 : 持続可能で使いやすい公共交通への転換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通による移動の利便性向上 ・ 利用実態・ニーズに応じた公共交通の見直し ・ 将来の人口規模も見据え持続可能な公共交通の維持に向けた利用促進 ・ 公共交通による外出支援や外出機会の創出につながる取組の充実 	施策 5 バス・タクシー乗務員の確保
		施策 6 路線バスの維持・再編
		施策 7 市内循環バスとデマンドタクシーの見直し・再編
		施策 8 高齢者等の外出支援
目標 3 : わかりやすく親しまれる公共交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適な利用環境づくりやサービスの提供、様々な情報の提供や発信等の充実 ・ 市民等に愛され将来に残していけるような公共交通の実現 	施策 9 情報提供ツールの充実
		施策 10 観光資源を活用した利用促進
		施策 11 市民・地域と共に公共交通を考える機会づくり
		施策 12 地域における輸送資源の活用に係る現況把握・調査研究

4-3. 地域公共交通における各交通システムの役割分担

公共交通は、自家用車で移動が困難な高齢者や学生等を中心とした移動手段を持たない方の日常の移動手段の確保、交通不便地域のニーズへの対応が求められます。また、外出機会の創出による健康増進や地域活性化への寄与も期待されます。こうした基本的な役割を踏まえ、本市の公共交通体系を「広域軸（広域連携軸）」、「幹線軸・支線軸（拠点間交流軸）」、「補完軸（地域コミュニティ軸）」に機能分類し、公共交通手段相互の連携により、利便性の向上と効率的な運行による公共交通の構築を目指します。



都市軸		土地利用状況	
	【広域連携軸】		市街化区域
	【拠点間交流軸】		集落地
	【地域コミュニティ軸】		農地

図●-本市の公共交通における交通軸

参考：行田市立地適正化計画（策定中）に追記

◆地域公共交通計画における各交通システムの役割

機能分類	役割	交通手段
広域軸 (広域連携軸)	都市間連絡の骨格路線となり、通勤・観光など広域的な移動目的に対応	鉄道 (JR 高崎線、秩父鉄道秩父本線)
幹線軸・支線軸 (拠点間交流軸)	周辺都市及び市内拠点間連絡の骨格路線となり、通勤・通学、通院、買物、観光などの多様な目的に対応	路線バス、市内循環バス
補完軸 (地域コミュニティ軸)	広域軸や幹線軸を補完し、拠点と居住地を繋ぐなど通院や買物等の日常的な移動手段を確保	市内循環バス、デマンドタクシー、タクシー、スクールバス、医療施設送迎車両など

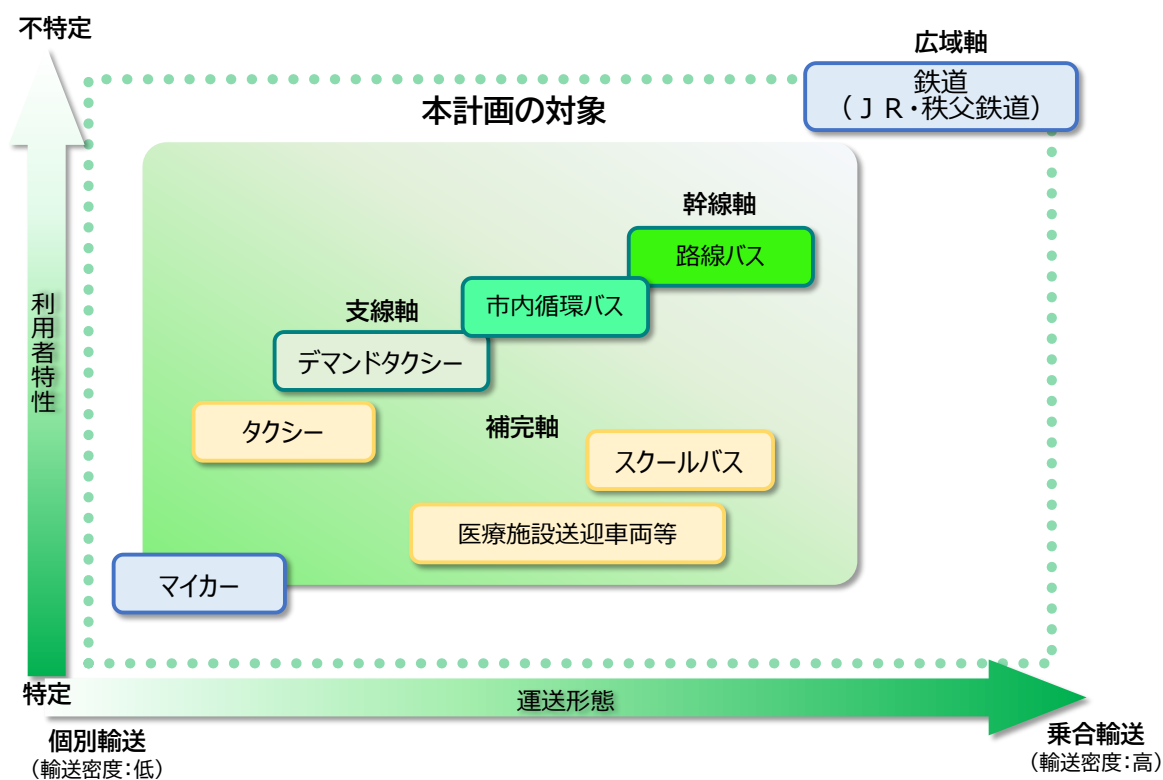


図 7-1 本計画対象範囲における交通手段